



令和5年  
6月23日 (金)

## 自灯明の心で向き合う

期末テストを終え、いよいよ七月の足音も聞こえてまいりました。これから学期末へかけては、テスト結果と向き合って学習の仕方を振り返り、軌道修正を図る時期だと思えます。

同時に、学ぶ目的や意味をテストだけに矮小化せず、**将来の夢・目標**へ向かって中長期的な視野を持ち、**自己の弱点の補強**とともに**発展的な学習を計画的に進める**ことを期待します。

学校では、わからないところを自分から訊くことが大切ですが、家庭学習では、自分が頼りです。自分を励ましつつ、**自律・自制する心**を持ち、粘り強く取り組むことを願います。

冒頭の「**自灯明**」という言葉は、釈迦が亡くなる時に弟子に残したものとされています。「自らを灯火(ともしび)として自分を抛り所にせよ」という意味で、**自分と向き合う**ことの大切さを説いているように感じます。

## 学びの目を社会へ広げ

今月は、**小山区防炎連絡協議会**、**水沢地区の活性化に関する意見交換会**に出席し、情報共有を図らせていただきました。

こうした地域の皆様との交流・懇談の場で一番に感じることは、地域の皆様方に**生徒たちが常に温かく見守って**いただいているということであり、**感謝の思い**は尽きません。学校教育に寄せられている大きな期待に応えられるよう、職員一同、より一層努めてまいります。

### 特色の一つとして

他方、少子高齢化の中で学校規模が縮小することに對して一抹の不安を抱いていらつしやることもそこはかとなく感じております。

本年度より、本校も「**学校規模適正化検討対象校**」として、他の指定校とともに一定規模の生徒集団による教育環境の確保に向けて検討を始めていくことになりました。

この取組は、直ちに統廃合に向かうというのではなく、**学校や地域の実情に応じた小規模校の特徴を生かした取組**(合同授業・小中一貫教育等)を進めていくものと聞いています。

先日、市教育委員会の学校訪問において、「柔らかな雰囲気の中で安心して学んでいる様子が伺える」との所感をいただきましたが、これからも**小規模校のアウトホームな環境を生かして**いきたいと思えます。

### 地域の学校として

加えて、**多様な他者と協働し**、大人数の中でも力を発揮して、**自らの問いを解決**できるたくましさや育てていきたいと考えています。

その一つとして、昨年度から**地域防災**について生徒たちの**当事者意識**が高まるよう働きかけてまいりました。本年度も**防災訓練への積極的参加**を促してまいります。

また、本年度は、地域の活性化の問題についても、「**中学生として何ができるか**」「**将来、地域住民としてどう生きたいか**」といった視点から、向き合わせたいと思えます。

こうした視点も含め、小規模校ならではの特色を生かす具体的な方向性や取り組み方を「**小中学校の一体化**」の取組を通じて、**両小学校とも連携**して考えていきたいと存じます。



### 様々な価値観に出会って

二年生がキャリア教育の一環として実施したプレ社会人セミナーでお世話になった中村製作所の社長様からのメッセージに、「人生で一番大切だと思ったこと」として、「三方よしの精神」という言葉がありました。

「三宝よし」とは、売り手と買い手が満足するだけでなく、**社会貢献**をすることが何より大切という意味で、江戸時代の商人の気質・考え方を示す言葉のようです。中学生の時期に、こうした**様々な価値観**に出会って、**自己を確立**していくことを大切にしたいと感じています。

### アフターコロナへ向け

去る五月八日に新型コロナウイルスが第五類に引き下げられたことを受け、教育活動の在り方や学校における感染予防対策もアフターコロナに向けて一歩を踏み出しています。

一方で、県教育委員会の調査(五月末)によりますと、「**授業中にマスクをすべて・ほとんど外している**」と回答している割合は、小学校の八割に対し、中学校は二割五分程度でした。

本校においてもマスクを外している生徒は六月に入りだんだんと多くなつてまいりましたが、五月は、ほぼ同様の傾向が見られました。長くマスク着用が続いたため、戸惑いのある生徒もいることと思われまふ。

今後**マスク着用の義務はないこと**や、**熱中症の危険性がある場合などはマスクを外すよう指導**をしながら、安心安全な教育活動となるよう、適切に判断してまいりますので、ご理解ご協力を願います。

詳しくは、裏面(六月十三日付H&Sにても配信)の県教育委員会からのメッセージをご参照ください。



じどうせいと ほごしゃ  
児童生徒のみなさん・保護者のみなさまへ

まいにち あつ ひ つづ ほんかくてき なつ ちか からだ  
毎日、暑い日が続いており、本格的な夏が近づいてきましたが、身体が  
あつ な じ き たいせつ ねが  
暑さに慣れていない時期でもあります。そこで、みなさんに大切なお願い  
があります。

がっこうせいかつ きほんてき ちゃくよう しんがた  
学校生活では基本的にマスクの着用がいらなくなり、新型コロナウイルス  
かんせんしょう るいかんせんしょう ちゃくよう なが  
感染症が5類感染症になりました。これまでマスクの着用が長く  
つづ はず おも  
続いたため、マスクを外すことにとまどいのある人もいますが、  
これからの時期は、特にみなさんの命と健康を守るため、熱中症を予防  
する必要があるひつよう  
する必要があります。

- がっこうせいかつ なか きほんてき ちゃくよう ひつよう  
●学校生活の中では、基本的にマスクの着用は必要ありません。
- たいいく じゅぎょう うんどうぶかつどう かつどうちゅう とほ じてんしゃ とうげこう とし  
●体育の授業、運動部活動の活動中、徒歩や自転車での登下校の時に  
はず  
は、マスクを外しましょう。
- ※マスクを着用していると、のどの渴きを感じにくくなるので、特に屋外  
とく おくがい  
にいる時や運動する時のマスク着用は、熱中症になりやすいため  
とき うんどう とき ちゃくよう ねつちゅうしょう  
注意が必要です。
- マスクを着ける理由は様々です。マスクのことで困った時は、身近な  
つ りゆう さまざま こま とし みぢか  
先生や大人に相談してください。

とうげこう じ こんぎつ でんしゃ なか ちゃくよう すいしょう  
※登下校時の混雑した電車やバスの中では、マスクの着用が推奨され  
ています。

※マスクの着用については、自分の健康管理を第一に考えてください。  
ちゃくよう じぶん けんこうかんり だいいち かんが  
なお、感染症が流行している場合は、感染の拡大を防止することが  
かんせんしょう りゅうこう ばあい かんせん かくだい ぼうし  
優先されます。  
ゆうせん

ほごしゃ みなさま ちいき みなさま りかい きょうりよく  
保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、ご理解とご協力をお  
ねが  
願いたします。

れいわ ねん がつ にち  
令和5年6月9日

みえけんきょういくいいんかい きょういくちよう ふくなが かずのぶ  
三重県教育委員会 教育長 福永 和伸